



11月3日から3日間、若狭町文化祭が開催されました。昨年は三方・上中会場に分かれて開催していましたが、今年はパレア若狭で町文化協会所属団体の技能・展示発表やコンサートなどが行われました。上中庁舎、若狭町公民館では一般作品や小中学生作品の展示もあり、大勢の人でにぎわいました。



奏でる♪



若狭町イメージソング初披露

4日に開かれたウィーン岐草管弦楽団コンサート。美方高校合唱部が共演し、若狭町イメージソングを初披露しました。イメージソングの歌詞は今春に公募。採用された星合節子さん(神奈川県)の歌詞に、作曲家の松村勇さん(牧野市)が作曲しました。この日は星合さんも会場で鑑賞し、「さわやかな中にもたくましさがあり、町の発展を感じさせる曲」と感激していました。

その後コンサートでは、観客が指揮者を体験したり、みんなでイメージソングの練習をしたりと、オーケストラと観客がひとつになった楽しいコンサートでした。



「中山首相補佐官に託す」

11月2日、「嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会」が中心となり県内各市町村やイベント時に集められ計81,598人分の署名簿を提出するため、上京。

午前10時30分、お世話いただいた高木毅衆議院議員事務所に集結。署名簿を台車に乗せ首相官邸に向かいました。午前11時、拉致問題担当の中山茂子首相補佐官に、署名者一人ひとりの願いを込めてと前置きして手渡しました。

中山補佐官からは、安倍首相から突然電話で補佐官になってほしいと要請があったことや、新たに設けられた特命の組織関係者6人の紹介をいただき、事の重大さと責任を痛感、そして首相の強い思いに背くことのないよう一生懸命に取り組む決意を語られました。

その後、北朝鮮による拉致の可能性が高い小浜市の山下春夫さん、紋賀市の山下賢さん、若狭町の宮

内和也さんの肉親が、行方不明当時の状況を説明されました。説明の間、一言も聞き漏らさないぞと思われる真剣なまなざしと、うなずきながらの対応は、それぞれの悲痛な訴えを丸ごと受け止めるような雰囲気、私自身も込み上げてくるものを感じました。過去2回の署名簿提出時にはなかった力強さと、何かやっていたとだけだと確信じみた力強さを感じました。やわらかな言葉、そして一挙一動に素直らしさをほうみつさせる人間性は、法律や常識では通用しない北朝鮮の対応にはうってつけの人選をされた安倍首相の素直らしさの一側を知ることができました。

中山補佐官のご主人は宮崎県選出衆議院議員で、文部科学大臣も務められた自民党の実力者です。奥さんとして夫を支え家庭を守りながらも、特に困難が予想される拉致問題担当の補佐官を受けられたのが…その思いは450人を超える失踪者の命と、当時厚生労働省の担当官として地村さんらの帰国に直接携

わられたこと、そして行方不明者や家族の悲痛さを真摯に受け止められたのではないのでしょうか。心からご苦労様です、頑張ってくださいと申し上げたい。

月日の流れは一時たりとも止まることなく、はや若狭町誕生から2年目の師走を迎えました。今年度は、パレオ芸術のオープンを始め、ものづくり美学舎の開学、たいしたもん屋野木店の開店、とばっ子保育園・三十三産業団地の完成、地域福祉推進拠点施設・長年の悲願だった遊子トンネル(仮称)が着工しました。ラムサール条約に登録された三方五湖では、10万年以上前から気候の変化が観察できる水月湖の湖底土の採取が行われたほか、ハス川におくさんのサケが遡上。ふゆみずたんぼにはコハクチョウが飛来するなど、町民あげての環境問題の取り組みに、自然も素直に反応を示してくれる、手ごたえのある「循環と共生」の嬉しい年でもありました。

どうぞ町民の皆さんも、ご家族お揃いで良き新年をお迎えください。

広報クイズ

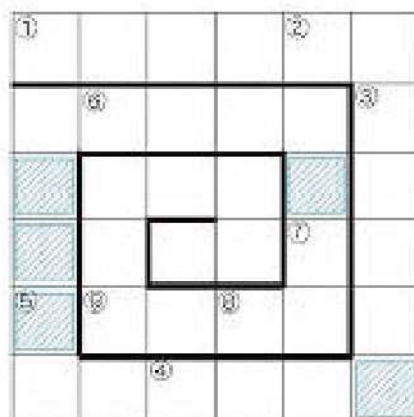
■応募方法■ キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。5つある青いマスのあるマスに答えを記入し、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想やご意見、住所、氏名を書いて「〒919-1393 若狭町役場企画情報課」(住所は省略できます)まで送ってください。E-mailでも受け付けます(kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で10人に図書券が当たります。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締め切りは12月18日(月)必着です。

しりとりうずまきクイズ

◇キーワード◇

- ①サンタさんからもらう〇〇〇〇〇プレゼント。
- ②豚肉と野菜を甘酸っぱく炒めた中国料理。
- ③三方湖の冬の風物詩。伝統漁法。
- ④鳴門が有名です。
- ⑤今年の汚れ、今年のうちに。
- ⑥百八の煩惱をとる。
- ⑦球技などでコート中央に振る綱。
- ⑧大豆の加工食品。〇〇〇ステーキ、〇〇〇ドーナツなどもある。
- ⑨冬の間に田んぼに水をためておく農法。冬期湛水水田ともいう。



ヒント：1年の最後の日。

こたえ

『〇〇〇〇〇』

広報クイズ11月号の答え「コウヨウ」

①オオズモウ ②ウナギ ③ギョウニョウ ④ウルグアイ ⑤イテザ
⑥ザウウノメイ ⑦イッスンボウシ ⑧シモツキ ⑨キノコ ⑩コヨミ

上中病院

(TEL 0770-62-1188)

健康アラカルト

糖尿病、高血圧症、高脂血症の方に

食事療法のワンポイント

■糖尿病の方に

家族みんなで楽しめる健康食です

◎ポイント

- ・ほとめ食い、早食いをしない
- ・和食スタイルを基本に
- ・主食を極端に減らさない
- ・油料理は1日2品まで
- ・嗜好品はルールを決めて
- ・多い分は残す勇気を

■高血圧症の方に

まず塩分を控えることから。

1日6～8グラムを目安に

◎ポイント

- ・加工食品(レトルト食品)の取り過ぎに注意
- ・罐頭の汁を残す
- ・酸味や香辛料、香辛野菜で料理

■高脂血症

食べ過ぎ、飲み過ぎ、コレステロールの多い食品に注意

◎ポイント

- ・油料理は1日2品まで
- ・肉より魚がおすすめ
- ・コレステロールの多い食品に注意
- ・食物繊維は心強い味方
- ・アルコールやジュースに注意
- ・禁煙に挑戦
- ・運動の習慣を
- ・エネルギーを適性に

1日に必要なエネルギー

身長(m) × 22 × 25 ～ 30kcal

例：身長160cmなら

1.6 × 1.6 × 22 = 56kg(標準体重)

56 × 30kcal = 1,700kcal



バランスのよい食事をとって毎日元気に過ごしましょう。

ご不明な点は上中病院栄養室まで

冠夕

六日吟社
独り言 手酌で愚痴る 妻の留守 小堀ふん子(鳥法)
膝栗毛 移り行く香に 歩を留めて 河村福寿草(相田)

川柳

ほつと川柳
初撮りの里芋とろり匂を食う 松宮 ちあ(井ノ口)
サクサクと落ち葉を踏んで秋を食う 辻本 晴(兼田)
叱られた理由定形にしたためる 吉村恵美子(上野)
秋冷の唯一匹が友を呼ぶ 今川てる子(鳥法)

川柳湖畔

わたしたち物が異なりて泣く 桑原 壽美(兼田)

短歌

上中短歌会

亡き夫の墓前にたむけし一本のたばこの煙
われになびける 小林 福(日笠)

「ばあちゃん」と声かけられる幼双子

文伸をもらふ 前田 鈴子(田上)

懐しのロボット 由里 絹子(井崎)

すれ違ふ朝の車窓の誰某に五つも六つも

会話し歌もうたひて人運ぶベツトに変はりし

かをり歌会

ふかふかのスリッパに変へ冬に入る 飛永 悦子(小原)

豹柄の靴を履けて冬来る 出口 綾(小原)

小原乙花会

色鳥の去りて静けさもどりけり 内藤 増之(海士坂)

露の玉世間をみんな丸くする 泉坂 玉城(海士坂)

海士坂俳句会

広報文芸



このコーナーでは、その月に3歳を迎える町内に在住の男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。
今回は平成15年12月生まれの3歳になるお子さまです。

HAPPY
BIRTH DAY

3歳

で～す

江戸 隆暁くん

12月30日生まれ(横浜)

親:基紀・啓恵さん

五歳レンジャーが大好きな
やんちゃ坊です。



芦田 一葉ちゃん

12月20日生まれ(東黒田)

親:秀幸・地綾子さん

「笑う門には福来る！」
笑顔が最高！我が家の福娘
です。



◇「3歳で～す」応募方法◇

今回は平成16年1月生まれのお子さまが対象です。写真と25字以内のコメントを添えて、企画情報課または上中リササービス室にお持ちください(E-mailでの送付も可)。12月8日(水)必着です。
●問い合わせ 企画情報課 (TEL 0770-45-9110)
E-mail:kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp(E-mailでの送付の場合は受信確認のため、必ずお電話ください。)

地域包括支援センター 福祉課(TEL 0770-62-2502)

毎日生き生き！

平成18年4月に介護保険認定を受けておられた方は、町内で750人余りです。この方たちの、介護が必要になった主な原因の病気を調べました。その結果を介護度別に分けたのが右のグラフです。介護度が高くなる(右へ行く)ほど、原因の病気がどうなっていくかを見てみましょう。



検証その1 骨粗しょう症や骨折、膝や腰の痛みなどの骨・関節疾患から介護保険を利用し始める人が多ようです。

検証その2 脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患や**認知症**は介護度が高くなるほど多ようです。これらの脳血管疾患や認知症は、**高血圧症や糖尿病、高脂血症**などが元で起こる動脈硬化性疾患と深い関わりがあるといわれています。

このような病気を予防して血管を若く保つことと、足腰の弱りがひどくならないよう、なるべく動いて生き生きとした健康な毎日を送りましょう。町では、どこでも誰でも簡単にできる「**ラクラク筋トレ体操**」を地域ふれあいサロンの中で広めていきたいと考えています。皆さんもぜひ地域のサロンに参加してください。

1974 年 10 月 1 日 至 1975 年 9 月 30 日止

主催 若狭町
若狭町認知症ケアからはじめるまちづくり会議
福井県国民健康保険団体連合会

広報わかさ 2006年12月号 | 17

暮らしの 情報BOX 12月

三方一上中間は
「0770」をつけてください

●三方庁舎	45-1111 (代)
総務課	45-9109
企画情報課	45-9110
税務課	45-9101
生活環境課	45-9104
住民課	45-9106
観光水産課	45-9111
三方庁舎サービス室	45-9103
出納室	45-9100
保健センター	45-1563
三方診療所	45-0714
教育委員会事務局三方事務所 (三方公民館)	45-9114
三方図書館	45-9115
縄文博物館	45-2270

●上中庁舎	62-1111 (代)
福祉課	62-2502
健康課	62-2503
バレー若狭管理課	62-2508
バレー若狭図書館	62-2505
産業課	62-2705
建設課	62-2706
上下水道課	62-2707
工事検査室	62-2701
上中庁舎サービス室	62-2700
議会事務局	62-2709
上中病院	62-1188
教育委員会事務局上中事務所 (若狭町公民館)	62-2711

除雪にご協力を

建設課

町では、積雪が10センチ程度になると主要幹線から除雪を始めます。除雪作業をスムーズにするために、皆さんも次のことに心がけてください。

◇自動車を道路や待避所に駐車しないでください。

◇除雪した後の道路に雪を捨てないようにしましょう

◇道路沿いの障害物には青旗や赤旗で目印をしましょう

◇除雪に支障をきたす立ち木などは、所有者の方で処理をお願いします。

◇海への排雪は違法です。罰せられますのでご注意ください。

※福井県のホームページで、冬期間、県内の道路状況画像や路面温度情報が確認できます。

<http://info.pref.fukui.jp/hozon/yuki/> (パソコン専用)

●問い合わせ

建設課・三方庁舎サービス室

休日・夜間窓口開設

福井県南振興局

県では、次のとおり県税の休日・夜間窓口を開設します。平日の昼間、窓口へ行けない人は、この機会をご利用ください。

■休日窓口開設

12月17日(日)8:30～17:00

■夜間窓口開設(窓口の時間延長)

12月15日(金)20:00まで

12月18日(月)20:00まで

■窓口開設場所

・南振興局若狭税務部
(TEL 0770-56-2222)

・南振興局二州税務部
(TEL 0770-22-0050)

電子申請システム

愛称の投票開始

福井県情報政策課

現在、県と市町が共同で「福井県・市町共同利用電子申請・施設予約システム(電子申請システム)」の構築を進めています。これは、インターネットを通じて各種申請や施設予約ができるシステムで、平成19年3月からの運用を予定しています。

皆さんにとって、親しみやすいサービスとするため、電子申請システムの愛称を投票により決定します。

■投票方法

下記のサイトへアクセスして投票してください(携帯電話からの投票はできません)。

<http://info.pref.fukui.jp/jouhou/naming.html>

■投票締め切り

12月15日(金)まで

●問い合わせ

福井県情報政策課
(TEL 0776-20-0270)

みんなが小浜線応援団

企画情報課

一人ひとりの電車利用が、小浜線を支える大きな力になります。人にも環境にもやさしい電車。私たちの地域を結ぶ電車を利用しましょう。

※小浜線利用に対する助成制度があります。詳しくは、役場企画情報課へお問い合わせください。

●問い合わせ 企画情報課



年末ジャンボ宝くじ

福井県市町村課

宝くじの収益金は、乳幼児医療無料化などの少子化対策に役立てられています。ぜひ、お近くの宝くじ売り場でご購入ください。

■発売期間

11月24日(金)～12月20日(水)

■価格

1枚 300円

■抽せん日

12月31日(日)

■当せん金額

1等……………2億円

1等前後賞……………5,000万円

2等……………1億円

大みそかラッキー賞…1万円

**戦傷病者の妻に
特別給付金が支給されます**

住民課

この特別給付金は、戦傷病者を永年介護されてきた奥さま(恩給法による傷病年金や、戦傷病者戦没者遺族等援護法による障害年金等を受けている方と婚姻している妻)のご苦勞に対し、国としていたわることを目的として、戦傷病者の奥さまに支給されるものです。

■受付期間

平成21年9月30日まで

●受付窓口・問い合わせ

住民課・上中庁舎サービス室

**12月は不法投棄等
防止啓発強調月間**

生活環境課

みだりに廃棄物を捨てた場合や廃棄物を焼却した場合(たき火、どんど焼きなどを除く)、5年以下の懲役や1,000万円以下の罰金に処せられることがあります。

■不法投棄 110番

廃棄物の不法投棄や焼却を見つけたら、不法投棄110番へ(TEL 0776-20-0584)

●問い合わせ 生活環境課

・二州健康福祉センター
(TEL 0770-22-3747)

・若狭健康福祉センター
(TEL 0770-52-1300)

平成18年度 家庭の日啓発作文コンクール入選者

11月11日に若狭町公民館で開催された青少年健全育成のついで、家庭の日啓発作文コンクールの表彰式が行われました。入賞者は次のとおりです(敬称略)。

■小学校低学年の部

【金賞】清水優志(瓜生小2年)、【銀賞】竹村佳久(野木小2年)、田中詩乃(三宅小1年)、【銅賞】竹内美空(鳥羽小1年)、中務穂香(三宅小1年)、斎藤未来(鳥羽小1年)

■小学校中学年の部

【金賞】斎藤花野(野木小4年)、【銀賞】小嶋七瀬(氣山小4年)、東純女(鳥羽小4年)、【銅賞】辛島輝美(三宅小4年)、小林真子(鳥羽小3年)、中村陽菜(瓜生小3年)

■小学校高学年の部

【金賞】須磨千尋(氣山小6年)、【銀賞】砂原悠花(氣山小5年)、江口智美(鳥羽小6年)、【銅賞】田中愛梨(野木小6年)、森北侑衣(鳥羽小5年)、炭吉美紀(三宅小6年)

■中学生の部

【金賞】田中文也(上中中3年)、【銀賞】深川証義(三方中1年)、中畑美穂(上中中2年)、【銅賞】田辺正和(三方中1年)、河村知映(三方中1年)、田中杏果(上中中1年)

**1月7日(日)の成人式は、
パレア若狭で開催します。**

日時 平成19年1月7日(日) 受付 午前9時30分から
開式 午前10時から

会場 パレア若狭 音楽ホール(上中庁舎近く)



安全で快適なドライブのために

10月22日に若狭町水難救助員がカーブミラーの清掃奉仕作業を行いました。参加した救助員は、モップやほうきなどを使い、町内の国道や集落内の汚れたカーブミラーをきれいに磨きました。この事業は、毎年10月中旬ごろに行われ、交通事故防止に役立っています。



カーブミラーを清掃する救助員

軟式野球大会 一部は世久見が優勝

9月13日に開幕した第1回若狭町軟式野球連盟会長杯争奪野球大会の全日程が10月27日に終了し、市姫(上中)グラウンドで閉会式が行われました。大会には1部・2部リーグ合わせて18チームが参加しました。
【1部リーグ】優勝・世久見、準優勝・GOLD
【2部リーグ】優勝・PRIDE、準優勝・みかたクラブ



1部リーグで優勝した世久見チーム

戦没者に追悼の誠を捧ぐ

10月13日に若狭町公民館で若狭町戦没者追悼式が行われ、遺族が1,031人の御霊に手を合わせました。若狭町英霊奉賛会会長の千田千代和町長は、「平和で豊かな今日こそ、過去を振り返り、戦争の悲惨さと多くの尊い犠牲があったことを忘れてはいけない」と式辞を述べました。



若狭町公民館で行われた追悼式

12月4日～10日は人権週間です

人権週間は、私たちの日常生活の中で、他人の人権を侵していないか、また自分の人権が侵されていないかを改めて考えてみる期間です。また、期間中は、人権擁護委員による街頭啓発なども行われます。

■特設人権相談所を開設します

○三方地区

日時：12月5日(火)

9:00～12:00

場所：地域福祉センター泉

○上中地区

日時：12月5日(火)

13:00～15:00

場所：若狭町公民館

●問い合わせ 住民課

■人権メッセージ作品募集

○対象：一般町民、小中学生

○内容：①絵手紙・・・はがきの大きさで ②五行詩 ③作文・・・400字詰原稿用紙に、小学校1～3年は2枚以内、4年生以上～一般は3枚以内 ④標語・・・簡潔な表現(五七五調など)が望ましい。親子・兄弟・友達共同でも可能です。応募は1人1作品とします。

○その他：題材は人権週間に関するものや嫌がらせ、いじめ、仲間はずれなど人権を侵害する問題に関して、それらを解決していくためのものです。応募者の学校名、学年、氏名、子どもの作品は親子・兄弟・友達作品かを明記してください。一般町民は集落名と氏名を明記してください。応募作品は、原則全作品を掲載し人権メッセージ集として発行します。また、標語については、表彰もあります

○応募締め切り：12月18日(月)

●問い合わせ・応募先 教育委員会事務局、上中地区公民館